



1月の納税

● 町民税
● 国保
● 後期高齢者医療保険料
● 第7期料
● 町民税
● 国保
● 介護保険料
● 第4期料

安心・便利な
口座振替を
ご利用ください。

11月25・26日に開催された「世界津波の日」高校生サミットin黒潮。世界各国から高校生が黒潮町に集まり大分あかつき館前で記念撮影。詳しくはP4~7の特集をご覧ください。

主な内容

- P. 2 年頭のあいさつ
- P. 3 まちのできごと
- P. 4 「世界津波の日」高校生サミットin黒潮
- P.11 健康カレンダー
- P.12 健康知恵袋
- P.13 備えて安心
- P.16 みんなでささえる国保会計
- P.17 役場からのお知らせ
- P.25 IWKTV番組予定表
- P.27 イベントカレンダー
- P.28 図書館カレンダー

わがまちデータ 2016(平成28)年11月30日現在

- 人口 11,665人(前月比40人減)
【男5,570人 女6,095人】
- 世帯数 5,577世帯
- 15歳未満の年少人口 1,033人(比率8.86%)
【男556人 女477人】
- 65歳以上の高齢人口 4,836人(比率41.46%)
【男2,034人 女2,802人】
- 人口のうごき
増加 16人 出生5人 転入11人
【男2人 女3人】 【男5人 女6人】
減少 56人 死亡29人 転出25人 職権2人
【男11人 女18人】 【男12人 女13人】 【女2人】



発行/黒潮町役場

〒789-1992 高知県幡多郡黒潮町入野2019番地1 (2017(平成29)年1月1日発行 印刷/(有)宿毛印刷)
TEL 0880-43-2111(代表) FAX 0880-43-2788
ホームページ <http://www.town.kuroshio.lg.jp/> [✉ somu@town.kuroshio.lg.jp](mailto:somu@town.kuroshio.lg.jp)

年頭のごあいさつ



黒潮町長
大西 勝也

新年明けましておめでとう
ございます。皆様におかれま
しては平成29年の輝かしい新
春をさわやかに迎えのこと
と心よりお慶び申し上げます。
また、平素より町政推進に際
しましては、深いご理解と温
かいご支援、ご協力を賜って
おります事に厚く御礼申し上
げます。

毎年、平穏な1年を願うと
ころですが、昨年は台風・豪
雨により住家の浸水をはじめ
道路や農地等に、大きな被害
が出てしまいました。そのよ
うな中、災害対応に献身的に

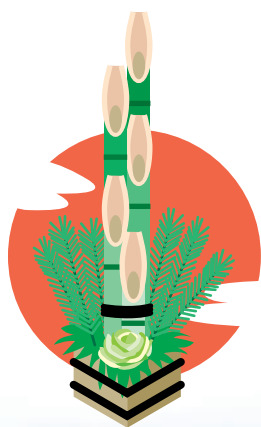
ご尽力を賜りました町内各地
区の自治会や自主防災会、消
防団の皆様ののおかげで、幸い
にも人的被害には及びません
でした。また、本町で初めて
実施いたしました夜間避難訓
練、避難所開設訓練には、夜
間にもかかわらず4000人
を超える住民の皆様のご参加
を頂き、改めて防災意識の高
さを実感したところです。

また、昨年開催いたしまし
た「世界津波の日」高校生サ
ミットin黒潮では、我が国を
含め世界30カ国から350人
を超える高校生が一堂に会し、
議論の成果として『黒潮宣言』
を取りまとめ、世界に発信頂
きました。サミット及び『黒
潮宣言』は国内外から高い評
価を受け、出席された高校生・
関係者からは住民の皆様のお
もてなしに大変感動したとの
声が多く聞かれました。

本年も人口減少社会におい
て、今後、力強く進めていか
なければならぬ「人と人と
のつながり」を核とした地域
福祉や子育て支援、産業基盤
の強化、防災等、まちづくり
の課題は山積ですが、住民の
皆様とともに1つ1つ着実に
進めてまいります。

皆様におかれましては寒さ
厳しい折、ご自愛いただき町
政発展のため、より一層のご
指導、ご支援を賜りますよう
お願いいたします。

結びに、今年1年が皆様に
とりまして健康で笑顔に溢れ
る幸せな1年となります事を
祈念し、新年のご挨拶とさせ
ていただきます。



「第54回大方の秋まつり」と 「第4回黒潮町まるごと産 業祭」を合同開催

11月13日、土佐西南大規模公園
体育館周辺で、「第54回大方の秋
まつり」と「第4回黒潮町まるごと
と産業祭」が合同開催されました。

今年も体育館内で町内学校から
の作品や一般の方の作品が展示さ
れ、体育館前では町内の特産品や
工芸品の出店。ステージでは子ど
もたちによるダンスショーや舞台
芸能など、日頃の練習の成果を発
表しました。

会場に隣接して「海辺の日曜日」
の開催もあり、たくさんの方が来
場しました。また土佐くろしお鉄
道・高知西南交通バスサポーター
ズクラブによる、ミニ列車やボン
ネットバス乗車体験・反射神経体
験コーナーや幡多中央消防組合に
よる放水的あてゲームや消防服着
用体験・作業車
乗車体験も行わ
れ、今年は去年
以上にたくさん
の体験イベント
が用意され大人
から子どもまで
が楽しめるイベ



ントとなりました。
※「大方の秋まつり」は毎年11月
の第2日曜日にふるさと総合セ
ンター前で開催していた、文化
作品の展示や舞台芸能を発表す
る催しです。「黒潮町まるごと
産業祭」は2013年12月に初
めて開催されたもので、黒潮町
の農業・漁業・商工業・林業・
観光業などを地域の皆さんに広
く知ってもらい、楽しんでいた
だく催しです。

第22回「潮風のキルト展」

黒潮町の秋を彩る、砂浜美術館
の「潮風のキルト展」が、11月11
日から13日まで入野松原で開催さ
れました。今回のテーマ「布を楽
しむ」に合わせ、県内外から応募
されたキルト作品は大小合わせ50
点。創作の楽しさ溢れる彩豊かな
作品が小春日和の松原で潮風にそ
よぐ風景を、多くの人が楽しま
しました。

今年の審査員は、兵庫県出身の
2人組ユニットpatch-workの村上
史博さん(写真右)と丸井康司さん
(写真左)。2年前のキルト展にワ
ークショップ講師として参加した
ことが縁で、今回はクッションな
どのデザインキルトを松原に展示
する企画展がありました。

そのほかに、布切れを使ったは
がき作りのワークショップや、手
作りの小物や飲食を販売するお店
屋さんも
あり、子
どもから
大人まで
楽しめる
イベント
でした。



今年の潮風大賞は大方高校の開設
講座「砂浜美術館」の男女4人の合
同作品。「夕日とクジラ」

「税に関する作品」 「税についての作文」表彰式

幡多租税教育推進協議会が幡多
地区の小学校3・4・5年生を対
象に「税に関する作品(習字)」の
募集を行い、11月14日に優秀作品
の表彰式が行われました。

黒潮町教育長賞に入野小学校3
年生・橋本悠さん、中村税務署長
賞に上川口小学校4年生・大西宙
舞さんが入賞しondenプラザ中
村ギャラリーで表彰式が行われま
した。

また、全国納税貯蓄組合連合会
および国税庁が全国の中学生を対
象に「税についての作文」を募集し、
幡多地域での入選者の発表があり
ました。

黒潮町からは佐賀中学校3年生・
山本菜桜さんの作文が黒潮町租税
教育研究会長賞に、大方中学校1
年生・相牟田
真珠さんの作
文が中村税務
署管内納税貯
蓄組合連合会
長賞に入選し
ました。



「世界津波の日」高校生サミットin黒潮

11月25日・26日、土佐西南大規模公園体育館を主会場に「世界津波の日」高校生サミットin黒潮が開催され、町内の方とたくさんの関係者やボランティアの方々の協力のもと黒潮町の歴史に残るサミットとなりました。

世界30カ国から集まった、約360人の高校生たちは事前学習などを重ね母国を出発し、スタディーツアーで東日本大震災被災地・和歌山県立耐久高校の視察、宮城県の高校生と交流をした後、高知空港に到着しました。25日の昼に黒潮町に到着をした高校生たちをもりあげ隊の方々が盛大に歓迎し、体育館アリーナで開会式。その後はグループに分かれて分科会の説明や自己紹介を行い、1日目の日程は終了しました。

サミット2日目の26日、午前中からA・Bグループに分かれ分科会・フィールドワークを行いました。午後からは記念植樹・総会を行い、それぞれの分科会の報告を発表。最後に本サミットで話し合われた全世界共通の防災・減災に対する考えを集約した「黒潮宣言」を採択し、サミットに幕を閉じました。

※「黒潮宣言」はP6・7に掲載。



【開会式】

25日午後、大勢のもりあげ隊に迎えられて来町した高校生たち。体育館アリーナで開会式が行われました。最初に大型スクリーンで黒潮町の紹介映像・サミットのために作られた映像が流された後、各国の紹介があり、大方高校の高校生議長の今井さん・今村さんの2人が力強く開会宣言を述べました。大西町長による挨拶の後には東日本大震災の復興教育プロジェクトとしてOEC D(経済協力開発機構)が協力し、被災3県の中高生100人で結成した「OECD東北スクール」の元メンバーの同志社大2年、釣巻洋子さんが講演。東日本大震災の被災地の報告や復興に向け、2014年にはパリで被災地の文化や観光資源をアピールしたことなどの報告がありました。分科会の説明の後には、グループごとに分かれ各国のゲームや記念撮影を楽しむ姿も見られました。



【分科会】

分科会のテーマは自然災害に対する理解・備え・復興の3つでした。自然災害リスクの理解では世界津波の日の普及、災害教訓の伝承、防災教育など。自然災害への備えでは減災のために学校や地域、家庭でできる取組の提案。自然災害からの復興では持続可能なボランティア活動の取組など学生が果たす役割について、グループに分かれ各国の高校生たちが意見を出し合い議論しました。インドネシアやチリの被災地の学生から現地の被害報告・復興の様子が報告されたり、国ごとでの防災の取組などを発表し合い、防災・減災についてお互いの認識を深めたうえで、アクションプラン(今後の行動計画)について議論しました。国内の高校生たちも事前に英語での討論の練習してきたようで、海外の高校生とジェスチャーなどを使い一生懸命、説明しました。



【フィールドワーク】

フィールドワークでは、あかつき館にある避難タワー、安政津波の碑の見学と、コウジン山への避難訓練を行いました。朝は肌寒く、ホッカイロを手に、初めて避難タワーを見る学生もいて、その頑丈さに驚いているようでした。体育館からコウジン山への避難訓練では田ノ口小学校の児童がシェイクアウトの手本を見せ、コウジン山へ誘導。「海は時に荒れ狂い牙をむくが、私たちに大きな恵みも与えてくれる。自然を愛する気持ちを込めて海に向かって叫んでいる」と上川口小学校校長先生の説明の後、生徒たちは「I love sea!」「おーい!」と海に向かって叫ぶ訓練を行いました。



【記念植樹】

26日午後、あかつき館玄関前で記念植樹、記念撮影が行われました。各国代表者と国内の学生がペアになり、幡東森林組合の方が用意した31本の黒松の苗が外国大使や国会議員、関係者などの見守るなか植樹されました。

記念植樹の後には全体記念撮影をあかつき館前の階段で行いました。高校生、引率者、関係者を合わせると600人を越える人数が階段に並びクレーン車を使った大規模な記念撮影となりました。



【総会】

26日午後3時から、体育館アリーナで総会が開かれました。議長による総会開会宣言の前、安倍総理からのビデオレターが放映され、集まった高校生たちを「若き防災大使」として、母国に帰ってからサミットで学んだことを広め、今後の活動に期待していると言葉をいただきました。そのほか、東日本大震災の被災地である石巻高校生2人と石巻西高校生1人からの報告があり、3人は今住む場所にどんな災害が起きたか、予期されているかを知る必要があると述べ、そのうえでどんな地域も「まだ被災していないだけで、災害から逃れられる安全な場所は世界中どこにもない」と語り、最後に、「あなたの母国で災害が起きたら、できる限りのことをして助けると約束します。私たちは仲間だから」と呼び掛けました。分科会の報告の後、2日間の内容を総括し、防災・減災の重要性を訴える「黒潮宣言」が議長により採択されました。



【フェアウェルパーティー】

サミットの全プログラムが終わってから、新ロイヤルホテル四万十でフェアウェルパーティーが行われました。2日間のサミット大会スケジュールで高校生も少し疲れている様子もありましたが、大会が終わったことでほっとしたのか、安堵の表情も見られました。県内高校生による音頭でジュースの乾杯をした後はご馳走を囲み、生徒同士の交流を深めました。パーティーの最後では幡多舞人によるよさこい踊りも披露され、町から1人1人に鳴子がプレゼントされ、振り付けを教えてもらいながら一緒に踊りました。



【町民の方の参加】

サミット当日は町内の方を含め、たくさんの方が協力してくださったこともあり無事終えることができました。もりあげ隊として高校生を出迎え、見送りにたくさんの方が参加し、コウジン山への避難訓練を田ノ口小学校の児童、記録撮影を大方高校の生徒と町内の方、お弁当の準備をであいの里蜷川、集落活動センター佐賀北部、中山スーパーの皆さん。フィールドワーク中の交通整理を消防署と近隣住民の方、このほかにもたくさんの方の協力がありました。紙面をお借りして、お礼申し上げます。



【高校生議長 大方高校 今村 琳花】

今回の高校生サミットの議長の話をしていただいた時は、正直なところ、英語がそれほど上手に話せるわけでもないし、人前で話すことが得意なわけでもないで、私でいいのかなと不安でしたが、挑戦してみようと思い引き受けました。東京での調整会議に出席し、総理大臣や外務大臣、二階幹事長との面会を通じてこのサミットに多くの方々の思いが詰まっているのだと感じました。高知市での宣言文検討会や県内の参加する高校生の事前学習会にも議長として参加し、自分で本当によいのかという不安がますます大きくなりましたが、多くの人の思いを忘れずにしっかりやりきろうという決意を固めました。当日はみんなで防災に対する意識を高めてもらいたい、また自然がもたらす悪い面だけではなく、良い面も知ってもらいたいという気持ちで総会に臨みました。緊張しましたが、楽しくできました。また世界にはたくさんの方がいろいろな文化があることを学びました。

サミットを通じて多くの国の人に出会い、いろいろな考え方を学べ、視野が大きく広がったと思います。将来はこの経験を活かしていきたいと思いました。



左、今村さん。右、今井さん。

【高校生議長 大方高校 今井 恋】

最初、議長の要請を聞いた時はサミットを通じて世界のいろいろな人と交流ができ、英語を話す絶好の機会になると思い、引き受ける決心をしました。東京での調整会議に出席したり、総理大臣や多くの方々に面会をしたりするにつれ、徐々に今回のサミットが大きなものだということを実感していきましました。また、サミット前に県内の高校生のプレゼン発表の研修会に参加し、津波や地震への防災対策の内容に、私ももっと勉強をしないと改めて考えさせられました。当日は多くの高校生の意見を聞き、津波の危険性や防災についてしっかりと学ぶという気持ちで臨みました。議長席に座った時には、みんなの顔が見えて緊張が最高潮に達しましたが、無事にやり遂げることができました。

今回のサミットを通じて家族で津波や防災について話し合う機会が増えました。また、サミットで各国の高校生が英語で意見を交換しているのを見てとても驚きました。自分ももっと英語を話せるようになり、英語に関係する仕事に就きたいと強く思いました。黒潮町に津波が来る際には私達が率先して、地域の方々と協力しながら少しでも被害を少なくできるようにしたいと思います。

黒潮宣言

国連総会において「世界津波の日」が制定されたことを記念し、私たちは、世界30ヶ国から、2016年11月25・26両日、南海トラフ地震による甚大な津波被害が想定される高知県黒潮町に集まりました。

世界各地で自然災害が大きな被害を及ぼし、多くの人々が復興に立ち向かっています。私たちの住む国や地域は多様であり、発生する自然災害や、防災に対する取組も様々ですが、すべての人々の命を守りたいという願いは同じです。

今日、世界の友と、災害から人々の命を守るために、そして被災地の復興のために、私たちは何をすべきか、また、どのような取組ができるのかを学び合いました。

このサミットを通じて、世界での津波リスクと津波による甚大な影響を認識し、先人たちの防災・減災の志を後世に伝える責務を引き継ぎ、津波災害をはじめとする災害から一人でも多くの尊い命を守るため、できうる限りの努力をする決意をここに宣言します。

1 私たちは学びます。

- 自然災害への理解を深めるため、それらの仕組みや被害、過去の歴史を正しく学びます。
- 人々の命を守るため、防災に役立つ知識や技術・取組を学び、研究します。
- 被災した方々から、私たちはどのように災害に立ち向かい、どのように生きるべきなのかを学びます。
- テクノロジーを駆使して学びます。

2 私たちは行動します。

- 自然災害の記憶の風化を防ぎ、防災意識向上のための啓発活動を絶やさず行います。
- 助けられる人から助ける人となる自覚を持ち、人々の心に寄り添うボランティア活動を積極的に行います。
- 防災への取組を地域社会と行政に提案するなど、地域社会の一員として地域づくりに参画します。

3 私たちは創ります。

- 学び得た知識や技術、若者らしい斬新な発想をもって、あらゆる人の防災に役立つ物や仕組みを創造します。
- 世界の友と生きるため、地域や国を越え、共に学び、協力しあう高校生間のネットワークを創出します。
- 次代を担う防災リーダーとして知恵と行動力を発揮し、私たちと未来の子ども達のために、地域の活性化はもとより、災害に強い街や国づくりに貢献します。

そして、自然の恵みを享受し、時に災害をもたらす自然の二面性を理解しながら、その脅威に臆することなく、自然を愛し、自然と共に生きていきます。

2016年11月26日 「世界津波の日」高校生サミット in 黒潮

The Kuroshio Declaration

To commemorate the establishment of “World Tsunami Awareness Day” at the United Nations General Assembly, for the past two days, on 25th and 26th of November 2016, we have gathered at Kuroshio Town, Kochi, which is predicted to suffer from significant damage by a devastating tsunami the Nankai Trough earthquake may cause.

Natural hazards bring severe damage across the world, and many people face having to recovery their communities as a result. Although the diversities in countries and regions we live in may create differences in disasters caused by natural hazards we face and our approaches to disaster risk reduction, we all share the common goal of saving all human lives from disasters.

Today, as high school students from around the world, we have learned about what we should and can do to achieve our goal and to contribute to recovery of disaster affected areas.

We hereby declare that we will continue to make our best effort to understand the risks and effects of tsunamis, to pass onto our predecessors’ experiences and knowledge of disaster mitigation and risk reduction to future generations, and most importantly, to save people’s lives from tsunamis and other hazards.

1 We will learn.

- We will obtain correct knowledge on the mechanisms of natural hazards, and the history of damage and disasters so that we can enhance our understanding of natural hazards and their risks.
- We will learn and study knowledge, skills, and actions that are useful for disaster risk reduction to save people’s lives.
- We will learn how to face hazards and how to live our lives from people who have experienced such disasters.
- We will utilize technology to enhance our learning.

2 We will take actions.

- We will keep reminding people of the risk of disasters caused by natural hazards and constantly carry out educational activities to raise people’s awareness of disaster risk reduction.
- We will recognize ourselves as people who offer help to others instead of people who receive help and we will actively participate in volunteer activities that consider others.
- We will contribute to community development as members of the community through activities such as proposing actions for disaster risk reduction to the local community and national and local governments.

3 We will create.

- By utilizing our acquired knowledge and skills, we will create useful tools and systems for disaster risk reduction for all kinds of people.
- We will create global and regional networks of high school students to learn together and cooperate with each other so that we can live together with our friends in the world.
- We will make use of our wisdom and vitality as future leaders for disaster risk reduction. We will not only revitalize the development of local communities, but also contribute to making our cities and countries more resilient to hazards for the sake of ourselves and children in the future.

While appreciating the blessings of nature and understanding the risks that nature sometimes brings about disasters, we will love and live with nature without fearing those risks.

November 26, 2016

High School Students Summit on “World Tsunami Awareness Day” in Kuroshio

入野小学校

『心豊かで、たくましい
子どもの育成』

校長 芝 雅人

◆はじめに

入野小学校の2016年度の児童数は、11月末現在で126人(男子63人、女子63人)です。学校沿革史を見ると最多児童数は1956(昭和31)年545人。その後減少し、300人を割りますが、1975(昭和50)年頃から増加に転じ1982(昭和57)年には再び児童数が400人を超えています。その頃を思うと少し寂しい気もしますが、学校には子どもたちの元気で楽しそうな声がいっぱいに響いています。



◆どんな授業を目指すのか

学校の教育目標は「心豊かで、たくましい子どもの育成」です。入野小学校では学校教育活動を通して「心豊かな子ども」

「たくましい子ども」に育てることを目指して日々を送っています。

これは「願い」とも言えます。私たち教職員は感性の豊かな子どもたちに育ってほしい、他の人の気持ちや願いを推しはかれる人に育ってほしいと願いながら取り組んでいます。もう1つの「たくましい子ども」については、身体的な面だけでなく、当たり前のことが当たり前にできるような心の面でのたくましさ・根気強さをもつ子どもに育ってほしいと願っています。

私たち入野小教職員は毎週水曜日に話し合いの時間を持っていますが、「そのような子どもたちを授業を通してどのよう育てるか」を考える話し合い(校内職員研修)も行っています。今年度もテーマを「かわり合い、学び合う子どもを育てる」とし、算数の授業を通して研修を進めているところです。



の「かわり合う」と「学び合う」が「心豊か」と「たくましい」の両方に関連していると考えています。例えば、「A君の考えとBさんの考えは、この部分が似ている」「Cさんの意見は、こんな考え方だと思う」という見方が他の人の考えを推しはかる子どもたち

育つ道筋の1つだと思っています。そして、誤答であっても、「その考え方は面白い」「すごい」「すごい」のように、正誤だけでなくアイデア・考え方・見方のもつ価値にも気づけるようになってほしいと思っています。そのために私たちは、「絵や図、既習事項などを使って、自力解決する授業」「考え方の良さやおもしろさを見つけようとする授業」というような授業を行うことも目指して取り組んでいます。



◆学力の状況

四月に行った標準学力調査の結果は次の通りです。

平成28年度標準学力調査結果

(全国を1とする)

	2年	3年	4年	5年
国語	0.99	0.89	1.00	0.96
算数	1.04	1.03	1.00	0.93

厳しい状況もありますが、改善に向けて「計算タイム」、「くろしおタイム」、「ノート紹介」など、新たに設けた取組、充実させるために改善した取組などで頑張っているところです。

特に4・6年生の「くろしおタイム」では国語と算数で「考えを書く」ことを中心に取組んでいます。国語では新聞記事を読んでまとめたり、内容に対する考えを書いたりする課題に取り組んでいます。算数でも「なぜ、そうなるのか」を書く課題に取り組んでいます。やや難しい内容です

が続けて取り組んでいますので、子どもたちの力も伸びてきていると感じています。

◆ホームページのご案内

入野小学校ホームページでは今回ご紹介できなかった子どもたちの様子も見てください。左の写真は見づらくて恐縮ですが、本校のトップページです。スマートフォンでは少し違う表示になりますが、内容は同じものを見ていただけます。「黒潮町立入野小学校」で検索するか、次のアドレスをご入力ください。

<http://www.irino-e-town.kunoshio.lg.jp/>



南郷小学校

『なかよく
かしこく たくましく』

校長 則 ルリ

◆はじめに

校庭の石碑に
刻まれている校
訓「なかよく
かしこく たく
ましく」、そして「自ら学び、
すすんで行動する子どもを育
てる」の学校教育目標のもと、
知・徳・体・命をバランス良
く施し生きていく力を育むた
めに、地道な取組を進めてい
ます。児童は素朴で明るく、
学年関係なく全校児童で仲良
く元気に遊ぶことができます。
保護者・地域とも、学校に対
して温かくとても協力的です。



◆朝は、あいさつと マラソンでスタート！

子どもたちの登校は早く、
7時頃から始まります。みん
なに、「おはようございます」
と元気にあいさつをして教室
に向かいます。課題であつた

地域でのあいさつも、児童会
による毎週火・木曜日のあい
さつ運動の
取組により、
「地域でも、
あいさつが
できるよう
になっている」
との声をい
ただけるよ
うになって
います。

朝8時か
らはマラソ
ン(ランランタイム)と50m1
本で頑張りスイッチが入り、
1日をスタートさせている「南
郷っ子」です。



50m1本!

◆防災教育と防災への取組

本校は、海拔6.6m、海から
の直線で670mの場所に位
置していることから、防災教
育は学校の重点課題と位置付
け「防災教育の風土づくり」
に向け、毎月の避難訓練、朝
マラソン、炊出し訓練、防災
学習・研修、保護者・地域と
の連携など、実践を積み重ね
ています。

今年度の「防災参観日」は、
防災時に起こり得るジレンマ
を想定して、ゲーム形式で防
災を学ぶ授業を行い、保護者・
地域の方と全校児童が、災害

時の避難行動について考え、
意見を交わしました。

◆学力の定着 向上に向けて

今年度も研究主題や研究教
科(算数科)は引き続き、授業
改善と学力向上に取り組んで
います。

《主な取組》

- ①校内研修の充実
- ②全学級が講師を招聘しての
研究授業の実施
- ③複式学級の学びと授業スタ
ンダードの確立
- ④基礎学習・チャレンジ(放
課後学習)・フラインデータ
イム(視写)などの継続
- ⑤家庭学習の手引きの活用と
定着、家庭学習の完遂
- ⑥長期休業中の加力学習
- ⑦教育環境の整備…など

◆標準学力調査結果より

学力をつけることは、1人
1人の子どもたちの個性や能
力を伸ばし、幅広く豊かな進
路、夢の実現や目標の達成な
ど、豊かな未来に向けた大切
な営みです。平均点だけでな
く、個々の結果を分析・把握
し、課題解決ができるように、
全教職員が方針を合わせて「チ
ーム南郷」で、学力の定着と
伸長に取り組んでいます。

平成28年度標準学力調査結果

(全国を1とする)

	2年	3年	4年	5年	6年
国語	1.04	1.06	1.12	1.03	
算数	1.02	1.12	1.06	0.98	
理科			1.06	0.92	1.00

右記は、今年4月に実施し
た標準学力調査の結果です。

◆学校・家庭・地域との連携 ～地域に根ざした学校～

生活科や総合的な学習の時
間を使い、フィールドワーク、
聞き取り学習、そして地域の
高齢者や施設利用者などの
交流を通して、地域の方々の
願いや生き方にふれ、共に生
きることの大切さを学んでい
ます。

地域の方々と、ふれあい親
しみを深める活動としては、
昔遊びを通しての三世代ふれ
あい参観日、グランドゴルフ、
ふれあいサロンなどを行って
います。

保護者、地域の方々は、引

き続き、登校時の見守り活動
(街頭指導)、そして、教育ポ
ランティアとして毎週金曜日
の朝の読み聞かせ、夏休み夜
間の太刀踊りの指導、米作り
学習、大根交流、手話学習な
どで学校に関わってください
ています。

重ねて、運動会やスカッシ
ユ大会、愛校作業なども地域
の方々の参加や協力を得て、
子どもたちはもちろん、学校
教育にとって大きな支えとな
っています。

地域の行事には児童の参加
が増え、行事の伝承ができて
いるように感じます。

これからも、地域の方々に、
子どもたちのことを知っても
らい、子どもたちも地域の方々
を知っているという関係をつ
くりながら、地域を誇りに思
い、地域を愛する子どもを育
てていきたいと思っています。



地域の方による太刀踊りの指導

待ちに待った収穫祭

11月19日は、拳ノ川小学校の収穫祭がありました。

朝から楽しみでわくわくしていました。学校へ行くと、地域の人やお父さん、お母さんたちがたくさん来ていました。

開祭式が終わって、それぞれの料理に取りかかりました。1・2年生は茶きんしほり、3・4年生は山芋汁と栗赤飯、5・6年生はおもちを作りました。私たちが作った茶きんしほりは、畑でとれたお芋で作りました。お母さんたちがむした芋の皮はいだりつぶしたりした後、ラップにのせて、きゅっきゅつと丸めました。数えたら533個もありました。途中で飽きてきて疲れたけど、食べてみるととてもおいしかったです。



(拳ノ川小学校 1年生・2年生)

高知県理科教育研究大会

11月29日は、高知県理科教育研究大会が三浦小学校でありました。4・5年生が理科の授業をみてもらいました。待っている、裏の広い駐車場がいっぱいになるくらいにたくさんの方が来ました。

ぼくは、心臓がドキドキしてきました。授業が始まると、よけいに緊張しました。

5年生は電磁石の授業でした。ぼくは、問題をみて、どちらかと言えば簡単だと思いました。200回、100回、50回

巻きのコイルを使って、どうしたら強い電磁石ができるか考えました。すると、実験の結果がバラバラになっていました。

ぼくは、これでいいのかなあと思いました。ぼくは、結果はそろわなくてはいけません。最初は簡単だと思っていたけど、やってみるとなかなか難しいと思いました。

たくさんの方にいられて緊張したけど、頑張りました。最後にチャイムがなるとホッと力が抜けました。

自分たちで電磁石を作って実験したので、面白かったです。

(三浦小学校 5年 安田 仁成)

自分たち



一祭合祭大高祭

10月29日、大方高校の文化祭が一般公開されました。今年度の文化祭のテーマは、「一祭合祭大高祭」楽しむちからある限り」でした。

午前中には大方中学校吹奏楽部、午後には一条太鼓の演奏もあり、とても盛り上がりしました。幡多農業高校の乗馬や、海辺の日曜市の皆さんにも参加していただき、いつも以上に充実した文化祭にすることができました。

また、私自身も生徒会執行部として熊本地震に対する募金活動をしました。募金をしていただいた方々に配った大方高校マスケットキャラクター「かつばあ」のバッジも好評で、もっとかつばあが黒潮町にひろがってほしいなと思う活動になりました。

また、大方高校と地域のかかわりがより深くなれば良いと感じました。次回の文化祭にもたくさんの方々に参加してくれることを楽しみにしています。

(大方高校 3年 徳廣 英理香)

また、大方高校と地域のかかわりがより深くなれば良いと感じました。次回の文化祭にもたくさんの方々に参加してくれることを楽しみにしています。



(大方高校 3年 徳廣 英理香)

大方地域

注)表中の※印は、受付時間となります。

1月	内 容	場 所	時 間
16日(月)	愛 育 相 談	地域子育て支援センター (大方中央保育所内)	※ 9:30~10:30
17日(火)	大 方 橋 川 健 康 相 談	大方橋川集会所	9:30~10:30
18日(水)	御坊畑ふれあいサロン	御坊畑集会所	9:30~12:00
23日(月)	伊田ふれあいサロン	伊田浦老人憩の家	9:30~12:00
	鞭ふれあいサロン	鞭老人憩の家	9:30~12:00
26日(木)	上川口浦ふれあいサロン	上川口浦集会所	10:30~13:00
	加持本村ふれあいサロン	加持本村集会所	10:00~12:00
30日(月)	浜の宮ふれあいサロン	浜の宮集会所	10:00~12:00
2月	内 容	場 所	時 間
2日(木)	灘 健 康 相 談	灘集会所	10:00~11:00
6日(月)	奥 湊 川 健 康 相 談	奥湊川老人憩の家	10:00~11:00

佐賀地域

1月	内 容	場 所	時 間
16日(月)	鈴ふれあいサロン	鈴漁民センター	10:00~13:00
	馬地ふれあいサロン	馬地集会所	9:30~11:00
17日(火)	いきいき☆ロコロコ倶楽部	支援センターこぶし	9:30~12:00
19日(木)	大和田ふれあいサロン	大和田集会所	10:00~13:00
20日(金)	いきいき☆ロコロコ倶楽部	保健センター	9:30~12:00
23日(月)	愛 育 相 談	佐賀保育所	9:30~11:00
24日(火)	いきいき☆ロコロコ倶楽部	保健センター	9:30~12:00
25日(水)	乳 児 健 診	総合センター	※13:00~
26日(木)	漁民ふれあいサロン	漁民センター	9:30~11:30
31日(火)	熊野浦ふれあいサロン	熊野浦集会所	10:00~13:00
2月	内 容	場 所	時 間
2日(木)	市 野 瀬 健 康 相 談	市野瀬集会所	13:30~14:30
4日(土)	第20回元氣いきいき町民の集い 講演:知ってほしい認知症のはなし (講師:小松加代子さん)	支援センターこぶし	10:00~12:20 (※9:30)
7日(火)	市野々川ふれあいサロン	市野々川集会所	9:30~13:00
8日(水)	伊与喜ふれあいサロン	伊与喜集会所	10:00~13:00

健康カレンダー

1月中旬から2月中旬までの健康に関する行事予定です。変更となる場合がありますので、担当係にご確認ください。



○お問い合わせ

本庁 健康福祉課 保健衛生係
佐賀支所 地域住民課 保健センター

☎43-2836(直通)
☎55-7373(直通)



認知症のキホン

認知症って何？

脳の病気によって、記憶力や判断力が低下することで、日常生活に支障が出ている状態を認知症といえます。

◆認知症を引き起こす代表的な病気

①アルツハイマー型認知症

- すべての認知症の中で最も多い
- もの忘れから始まる場合が多い
- 主な症状として「段取りが立てられない」、「気候に合った服が選べない」などがある
- 治療薬がある

②血管性認知症

- アルツハイマー型認知症に次いで多い
- 脳の血管が詰まったり、破裂したりして起こる
- 発症や進行の予防が可能

③レビー小体型認知症

- 「本来存在しないものが見える幻視」、「手足の震え」、「歩行障害（パーキンソン症状）」という特徴がある

④前頭側頭葉変性症（ピック病）

- 「人格や行動の変化（万引き、同じ行動を繰り返し返す）」、「言葉の障害が初期から目立つ」という特徴がある

◆認知症と老化による「もの忘れ」の違い

認知症

- 体験そのものを忘れる
- 日常生活に支障がある
- 例・朝ごはんを食べたことを忘れて
ている

加齢による「物忘れ」

- 体験の一部を忘れる
- 日常生活への支障はない
- 例・朝ごはんはんに食べたものを忘れて
ている

◆もしかして認知症？

認知症の症状

認知症には、認知症の中心となる症状の「中核症状」と環境、人間関係などさまざまな要因がからみ合っただけであらわれる「行動・心理症状」があります。

中核症状

〈記憶障害〉

- さつき聞いたことが思い出せない
- 以前覚えていたはずの記憶が失われる

〈見当識障害〉

- 時間や季節、場所などの感覚が薄れる
- 道順などがわからなくなる

〈理解・判断力の障害〉

- 思考のスピードが遅くなる
- ささいな変化やいつもと違う出来事で混乱する

〈実行機能障害〉

- 料理を平行して進められないなど、自分で手順を考えたりすることができない

行動・心理症状

- 能力の低下を自覚して元気がなくなる
- しまい忘れを他人に盗られたと勘違いする など

家族が最初に気付いた日常生活の変化

- 同じことを何回も言ったり聞いたりする
- 夜中に急に起きだして騒ぐ
- 計算の間違いが多くなった
- ささいなことでも怒りっぽくなった
- 身だしなみに配慮しなくなった
- 置き忘れやしまい忘れが目立つ
- 物の名前が出てこなくなった

症状が軽い段階のうちに認知症であることに気づき、適切な治療が受けられれば、薬で認知症の進行を遅らせたり、場合によっては症状を改善したりすることもできます。

認知症の早期診断・早期治療につなげるために、自分自身や家族・同僚、友人など周りの人について「もしかして認知症では」と思われる症状に気づいたら、1人で悩まず身近な相談窓口や専門家などに相談しましょう。

○お問い合わせ

本庁 健康福祉課 保健衛生係

☎ 43-2836 (直通)

佐賀支所

地域住民課 保健センター

☎ 55-7373 (直通)



世界津波の日

高校生サミット in 黒潮を開催

「世界津波の日」の啓発イベントとして、青少年による国際会議「世界津波の日」高校生サミット in 黒潮を本町で開催しました。

日本一の津波想定高にも負けず、住民一丸となって推進してきた、黒潮町の防災が認められ、開催地として選ばれたことは、大変喜ばしいことです。

地震・津波は、多くの人命を奪い、甚大な被害をもたらす各国共通の課題です。今回のサミットは、約30カ国からの高校生が黒潮町に集い、高台避難訓練・津波避難タワー視察のフィールドワークをはじめ、分科会では、活発な議論が交わされました。

サミット開催中について、皆さんのご理解・ご協力をいただきありがとうございました。

自主防災力を

継続・向上させよう

阪神・淡路大震災では、生存者を救出できたのは、大部分が3日目まででした。

このような傾向は他の大地震でもみられ、地震発生から最初の3日間、人命を救助するために非常に重要な「黄金の72時間」と呼ばれています。

人命救助に最も大切な地震発生後の72時間を中心に、県、市町村、防災関係機関などでは、人命を救う応急活動を最優先に行います。しかし、次の南海トラフ地震では高知県の広い範囲で甚大な被害が発生し、公的な救助活動が被災地全域に行き渡らないことも想定されます。そのため、地域で助け合って救助活動を行うことが重要となります。



街路灯が寄贈されました

四国電力株式会社より街路灯が寄贈され、10月31日に黒潮町役場で街路灯寄贈式が行われました。寄贈数は3灯です。いずれの場所も夜間は暗く危険な場所でしたが、今回の寄贈によって地域安全の向上が図れました。

街路灯整備地区

鞭・大井川・田村地区



住宅防火 いのちを守る

7つのポイント

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる
- ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐため、住宅用火災警報器を適切に設置する
- 寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

火災による死者を出さないためには、1人1人が普段の生活の中で、防火に関する意識を高め、火災予防の対策をすることが何よりも大切です。

お問い合わせ

【本庁】情報防災課 消防防災係

☎43-2188(課直通)

【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第1係

☎55-3113(直通)



介護保険ガイド

● 介護保険広報シリーズ 129 ●

介護保険制度・要介護認定について

申請者・利用者の方に知ってもらいたいこと

介護保険とは…

介護保険は、介護を要する状態になっても、できる限り、自宅で自立した日常生活ができるように、必要な介護サービスを総合的・一体的に提供する制度です。

介護保険法

第1条(目的)	(要介護者が)尊厳を保持し、 その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう 、必要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る給付を行うため、 国民の共同連帯理念に基づき 介護保険制度を設け、その行う保険給付等に関して必要な事項を定め、もって国民の保健医療の向上及び福祉の増進を図ることを目的とする。
第2条 第2項	保険給付は、 要介護状態等の軽減又は悪化の防止に資する よう行われるとともに、 医療との連携に十分配慮 して行われなければならない。
第2条 第4項	(要介護者が) 可能な限り、その居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮 されなければならない。
第4条 (国民の努力義務)	国民は、 自ら要介護状態となることを予防するため 、加齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して 常に健康の保持増進に努めるとともに 、要介護状態となった場合においても、進んでリハビリテーションその他の適切な保健医療サービス及び福祉サービスを利用することにより、 その有する能力の維持向上に努めるものとする 。



介護保険サービスは、要介護状態になっても、可能な限り自立した日常生活が送れるよう、身体機能の維持・向上を目的としたトレーニングや生活支援（掃除や調理などがこれまでどおり1人でできるようにするための支援）などを提供するサービスです。

また、これらは65歳以上の方から納付いただいた介護保険料をもとに提供しています。

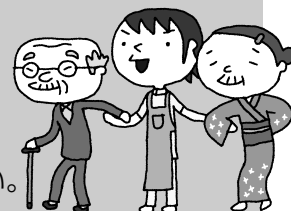
在宅での生活が身体機能や環境の面において難しい方には、施設サービス（特別養護老人ホームなど）が提供されます。

黒潮町では、介護予防のための取り組みとして

- 3世代ふれあい健診
- いきいき☆ロコクロ倶楽部（運動器の機能向上・寝たきり予防）
- ふれあいサロン

などを実施しています。みんなで介護予防に取り組みましょう！

※介護予防事業については保健衛生係（☎43-2836）までお問い合わせください。



そして… 介護保険サービスが必要になったら、まず申請してください

65歳以上の方で介護が必要となり、介護保険サービスの利用を希望するときは、「要介護認定」を受ける必要があります。要介護認定とは、心身の状態の改善が見込まれるかどうかや、どれくらいの介護の時間が必要かを審査するもので、申請から認定まで1カ月程度かかります。

※40歳以上65歳未満の方で、特定疾病がある方も対象となります。詳しくは介護保険係へお問い合わせください。

申 請

サービスの利用を希望する方は、介護保険係へ介護保険証（40歳以上65歳未満の方は医療保険証）を添えて申請してください。申請は、本人、家族のほか、ケアマネジャー、成年後見人、居宅介護支援事業者、地域包括支援センターなどにも頼めます。（申請書などについては、介護保険係へお問い合わせください）

認定調査（訪問調査）

認定調査員が自宅や施設を訪問し、心身の状況などについて本人や家族などに聞き取り調査をします。

医師の意見書 ※役場から医療機関に依頼します。

主治医から介護を必要とする原因疾患などについての意見書を提出してもらいます。

審査・判定

認定調査結果と医師の意見書を基に保健・医療・福祉の各分野の専門家で構成される介護認定審査会で、介護の必要度や状態の維持・改善の可能性の審査を行います。

認定・通知

審査判定に基づいて、「自立（非該当）」「要支援1・2」「要介護1～5」の区分に分けて認定し、その結果を通知、併せて介護保険証などを送付します。

要介護認定

～認定結果に応じて、必要なサービスが利用できます～

自立（非該当）

介護保険サービスは利用できませんが、福祉事業による各サービスを利用できる場合があります。（軽度生活援助、生きがい活動支援通所など）

要支援1・2

＜介護保険＞
介護予防サービス

を利用できます。
（地域包括支援センターでケアプランを作成します）

要介護1～5

＜介護保険＞
居宅・施設サービス

を利用できます。
（居宅介護支援事業者や施設でケアプランを作成します）

介護保険料は大切な財源です。納付期限までにお納めを ～安心で便利な口座振替を！～

【お問い合わせ】 本庁 健康福祉課 介護保険係 ☎43-2116（課直通）

みんなでささえる 国保会計



～「交通事故」や「けんか」などで人にけがを負わされたとき～

「交通事故」や「けんか」など第三者の行為によってけがをした場合は、原則として保険証が使えず、加害者に保険分の医療費を支払ってもらうことになります。しかし、双方の過失の状況などが事例ごとに異なることから、一時的に国保の保険証を使って治療を受けてもらい、事故の状況などを調べた後、場合によっては国保から加害者側(保険会社等)へかかった医療費を請求することがあります。そのため、事故の当事者は国保係での届出が必ず必要になります。ただし、双方の間で示談が成立してしまった場合は、かかった医療費の請求ができなくなる場合がありますので、必ず示談をする前に、すみやかに国保係へご連絡ください。

国保が原則使えない(加害者が医療費を負担する)第三者行為の例は以下のとおりです

- ・交通事故(相手にけがを負わされたとき)
 - ・傷害事件(けんか)に巻き込まれた
 - ・他人の飼い犬にかまれた ← 飼い主が加害者になります
 - ・飲食店で食中毒にあった など
- 第三者行為による届け出に必要なもの(交通事故の場合)
- ・第三者行為による傷病届など各種届出書(国保係にあります)
 - ・交通事故証明書(警察署へ連絡し必ず申請してください)
 - ・被保険者証(保険証)、印鑑、個人番号(マイナンバー)と本人確認ができるもの

次の点にご注意ください

- 相手のいる交通事故の際は、**示談をする前**に国保係へすみやかに届出をしてください。
- すぐに届出ができない場合は、**役場国保係まで電話連絡をしてください。**

第三者行為に関する手続きについてのよくある質問(Q&A)

Q：自損事故で同乗者がケガをした場合はどうなるの？

A：わき見運転などによる自損事故で同乗者がケガをしたときは、運転者が加害者の「第三者行為」となります。同乗者が保険証を使って治療を受ける場合は、必ず第三者行為の届出をしてください。

Q：自動車同士の事故でどちらもケガをしたときは？

A：どちらにも過失が認められる場合には、双方が加害者であり被害者でもあることになり、お互いに第三者行為が成立します。よって、保険証を使って治療を受ける場合それぞれが第三者行為の届出をする必要があります。

Q：第三者行為による傷病での治療費は税の医療費控除の対象になるの？

A：交通事故など第三者行為によるケガや病気で通院したときに支払った治療費の自己負担分は、加害者の自賠責保険などから支払われますので、税の医療費控除の対象にはなりません。

この他にも不明な点などがありましたら、お気軽に下記までお問い合わせください。

○お問い合わせ 【本 庁】 住民課 国保係

☎43-2800(課直通)

【佐賀支所】 地域住民課 総合窓口第2係

☎55-3112(係直通)

確定申告相談会のご案内

公的年金などを受給されている方で、所得税の還付を受けたい方を対象に、確定申告書の作成・申告相談会を次のとおり開催します。今年度よりマイナンバーの記載が必要になりますので、マイナンバーの分かるものを持参してください。

◆大方地域

日時 2月8日(水)・9日(木)

午前9時30分～11時
午後1時30分～4時

場所

保健福祉センター
2階大ホール

◆佐賀地域

日時 2月3日(金)

午前9時～11時30分
午後1時～4時

場所

佐賀支所 1階町民室

◆必要書類

1 マイナンバーカードまたは番号確認書類と身元確認書類(下表の【★本人確認書類】をご覧ください)

2 昨年の相談会で申告をした方は申告時にお渡しした「重要書類在中」の封筒

3 公的年金などの源泉徴収票、公的年金以外の収入のある方はその所得の計算に必要なもの(給与所得の源泉徴収票など)

4 生命保険料、地震保険料の控除証明書、国民年金・国民年金基金の控除証明書

5 黒潮町以外の国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料などの支払いがある方はその額の分かる書類(黒潮町の分は不要です)

6 医療費控除の申告をされる方は、平成28年中に支払った医療費の領収書(事前に集計をしておいてください)

7 印鑑、筆記具、還付金振込口座の通帳など

なお、「分離譲渡所得」などがある場合は、税務署での確定申告をお勧めします。

また、確定申告は、国税電子申告・納税システム(通称e-Tax)による提出もできますので、積極的なご利用をお願いします。

詳しくは、国税庁ホームページをご利用ください。

(<http://www.nta.go.jp>)

※公的年金などを受給されている

方で確定申告が不要になる場合があります。

★本人確認書類

マイナンバーカードをお持ちでない方		マイナンバーカードをお持ちの方
身元確認書類	番号確認書類	マイナンバーカードだけで、番号確認と身元確認が可能です。
運転免許証・パスポート・身体障害者手帳・在留カードなどのうちいずれか1つ	通知カード・マイナンバーの記載がある住民票の写し、または住民票記載事項証明書などのうちいずれか1つ	

※所得税の納付申告をされる方は、2月16日～3月15日の申告期間中に、税務署または役場本庁・支所にて申告を行ってください。

詳しくはお問い合わせください。

○お問い合わせ

本庁税務課

43-2816(直通)

佐賀支所地域住民課

総合窓口第1係

55-3113(直通)

あったかふれあいセンターさが
日曜日も利用できます

町内4カ所目のあったかふれあいセンターが、佐賀地域に開所。12月11日、区長や民生委員、地域ボランティアなど、約50人が出席し、開所式が行われました。

「あったかふれあいセンターさが」は、町の委託を受け、黒潮町社会福祉協議会が運営(日～木曜日、午前9時～午後5時)。総合センターや各集会所での集い、訪問、相談、生活支援などを行います。

子どもや子育て世代、働く世代も利用しやすいよう、日曜日も開所。総合センターの2階和室には、自由に使えるカフェスペースとキッズスペースを用意していますので、お気軽にお越しください。



○お問い合わせ

あったかふれあいセンターさが

31-4807(直通)

55-3371

軽自動車税について

①三輪、四輪の重課税

平成28年度課税から、最初の新規検査から13年経過した三輪、四輪の軽自動車について、重課税が導入されています。(ただし、電気軽自動車、天然ガス軽自動車、メタノール軽自動車、混合メタノール軽自動車およびガソリンを内燃機関の燃料として用いる電力併用軽自動車ならびに被けん引車は重課の対象から除きます。)

平成29年度課税の重課対象は平成16年3月31日以前に最初の新規検査を受けた車両(自動車検査証に記載されている初度検査年月が「平成16年3月」以前)となります。

※平成15年10月14日前に最初の新規検査を受けた車両は年までの記載しかないため、その年の12月に検査を受けたものとみなします。

※重課税率とは、グリーン化(環境への負担軽減)を進める観点から最初の新規検査年月から13年を経過した車両について、その翌年度から適用されます。

購入した年ではなく、新規検査年月からの経過年数で課税されます。

すのて注意ください。

車種区分			重課税率(年税額)
軽四輪	乗 用	自家用	12,900円
		営業用	8,200円
	貨物用	自家用	6,000円
		営業用	4,500円

②グリーン化特例の延長

平成27年度税制改正で実施されたグリーン化特例(軽課)について、特例措置が1年間延長になりました。

これにより、平成28年4月～平成29年3月に新規取得した三輪、四輪の軽自動車で、次の基準を満たす車両について、平成29年度分の軽自動車税に限り、グリーン化特例(軽課)が適用されます。

車種区分			税率(年税額)		
			(ア)	(イ)	(ウ)
軽四輪	乗 用	自家用	2,700円	5,400円	8,100円
		営業用	1,800円	3,500円	5,200円
	貨物用	自家用	1,300円	2,500円	3,800円
		貨物用	1,000円	1,900円	2,900円

(ア) 電気自動車・天然ガス軽自動車(平成21年排出ガス10%低減)

(イ) 乗 用: 平成17年排出ガス基準75%低減達成(★★★★)かつ平成32年度燃費基準+20%達成車

貨物用: 平成17年排出ガス基準75%低減達成(★★★★)かつ平成27年度燃費基準+35%達成車

(ウ) 乗 用: 平成17年排出ガス基準75%低減達成(★★★★)かつ平成32年度燃費基準達成車

貨物用: 平成17年排出ガス基準75%低減達成(★★★★)かつ平成27年度燃費基準+15%達成車

※(イ)、(ウ)については、揮発油(ガソリン)を内燃機関の燃料とする軽自動車に限り適用。
※各燃費基準の達成状況は、自動車検査証の備考欄に記載されています。

○お問い合わせ

本庁税務課

☎ 43-2816(直通)

佐賀支所地域住民課

総合窓口第1係

☎ 55-3113(直通)

110番の適切な利用を

1月10日は「110番」の日です。110番は、事件や事故が発生した際に、県民の皆さんと警察を結ぶホットラインであり、安全で安心な日常生活に欠かすことのできないものです。

緊急の場合は「110番」、各種相談は「#9110」または中村警察署「0880-34-0110」にお願いします。

モクズガニの保護について

県内の河川では、資源の減少が心配されているモクズガニを保護するため、12月から翌年7月までの間、高知県内水面漁場管理委員会の指示によりモクズガニを取ることが禁止されています。

モクズガニの資源回復に向けた皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

○お問い合わせ先

高知県漁業管理課(高知県内水面漁場管理委員会事務局)

☎ 088-821-4608

**保育所入所申し込みの
受け付けを開始します**

平成29年度の町内保育所への入所申し込みの受付を開始します。なお、現在入所している児童についても入所の手続きが必要です。

保育所（4力所）

佐賀保育所・大方くじら保育所・大方中央保育所・南部保育所

◆受付期間

1月6日（金）～27日（金）

◆入所期間

平成29年4月1日から
平成30年3月31日まで

◆入所基準・提出書類

保育所入所案内・提出書類は各保育所、教育委員会にあります。世帯の状況により、入所基準や提出していただく書類が異なりますので詳しくは入所案内をご覧ください。

◆申込書交付と受付窓口

各保育所、教育委員会
*広域入所を希望される方も手続きしてください。

*受付期間を過ぎても申込を受け付けますが、希望する保育所に入所できない場合があります。

○お問い合わせ

佐賀保育所

☎ 55-2117（直通）

大方くじら保育所

☎ 44-1112（直通）

大方中央保育所

☎ 43-0511（直通）

南部保育所

☎ 43-3481（直通）

教育委員会学校教育係

☎ 55-3190（直通）

**国民年金の加入届出について
～20歳になったら国民年金～**

日本に住んでいる20歳以上60歳未満の方は、国民年金に加入して、国民年金保険料を納めることになっています。

国民年金は、老後の生活保障だけでなく、病気やけがで障がいが残ったときや、家族の働き手に万が一のことがあったときに、あなたの生活をサポートします。

ただし、加入の届出をしていない、保険料の納め忘れがあるなど、受給要件を満たしていない場合には、年金が受け取れない場合があります。「あの時に手続きしていれば…」と後悔する前に、国民年

金に加入しましょう。（20歳前に就職して厚生年金などに加入中の方は、加入手続きは不要です）。

なお、学生の方や、収入が少なく保険料の納付が困難な場合は、保険料の支払いを猶予・免除する制度があります。

加入手続きおよび免除申請については、役場または年金事務所にお問い合わせください。

○お問い合わせ

本庁住民課住基戸籍係

☎ 43-2800（課直通）

佐賀支所地域住民課

総合窓口第2係

☎ 55-3701（直通）

日本年金機構幡多年金事務所

☎ 34-1616

**第36回
幡多ふれあい医療公開講座**

①不整脈と脳卒中

講師…高知県立幡多けんみん病院 診療部長（循環器科）

院 矢部 敏和

講師…医療法人たんぽぽ

②腎臓の役割から見た健康管理

講師…医療法人たんぽぽ

松谷内科 院長 松谷 拓郎

◆日時

2月5日（日）午後1時30分～4時

◆場所

土佐清水市立中央公民館 土佐清水市天神町11-15

○お問い合わせ

幡多けんみん病院

☎ 66-2222

平成28年度

黒潮町戦没者追悼式

先の大戦で亡くなられた方を追悼し、平和を祈念するため、黒潮町戦没者追悼式を行います。

台風接近に伴い延期としていましたが、2月に佐賀地域で開催することとなりました。

どなたでも参列できます。送迎バスをご利用希望の方は、左記へご連絡ください。

◆日時

2月18日（土）

受付 午前9時～

式典 午前10時～

◆場所

総合センター（佐賀支所前）

○お問い合わせ

本庁健康福祉課福祉係

☎ 43-2116（課直通）
佐賀支所地域住民課総合窓口第2係
☎ 55-3112（直通）

2017 大方人権まつり
「第28回解放のまつり」

今回は、つながりの「輪」をテーマとして大方人権まつりを開催します。

小中学生を中心に、これまで同和問題をはじめ、あらゆる差別解消に向けて学び・実践してきたことの発表と展示を行います。

できるだけ多くの方々に思いが伝わりますよう、皆さんのご来場をお待ちしています。

催し・発表

日時

2月4日(土)午前9時～

場所

ふるさと総合センター

発表

- 大方中学校吹奏楽部演奏
- 町内小中学生による人権作文
- 浜松解放子ども会
- 黒潮町職労部落解放研究部
- 大方中央保育所
- 大正琴演奏
- 保育所・小・中学校教職員
- おらんくの先人紹介
- ◆ 記念講演 午後1時30分～
「いのちと夢のコンサート」
弓削田健介さん比留間光悦さん

◆ 出店

鉢花・グアバ製品・寿司・炊き込みご飯・じゃこ飯・焼き鳥・たこ焼きなど



いのちと夢のコンサート

作品展示

人権標語・作文・書道・絵画・活動紹介などを展示します。

大方地区小・中学生、大方中央

保育所、大方生華園、大方誠心園、

浜松解放子ども会、大方町民館

日時

2月1日(水)～6日(月)

午前10時～午後5時

◆ 場所

大方あかつき館

○お問い合わせ

2017 大方人権まつり実行委員会事務局 大方町民館

☎ 43-1204

心に届け熱と光！

「第28回横浜解放まつり」

「解放運動の熱と光を未来へ」をテーマに第28回横浜解放まつりを開催します。

この催しは、同和問題をはじめ、あらゆる差別の解消を目指し、1年間の活動の成果を発表する場であり、誰もが幸せに暮らせる社会の実現を願って開催するものです。

記念講演は、山口県人権啓発センター事務局長の川口泰司さんを招き、講演をしていただきます。

そのほか、地域交流事業の各教室の発表、解放子ども会の発表や劇、地域自慢の美味しい食べ物の出店も用意しています。

多くの皆さんの来場をお待ちしています。

催し・発表

◆ 日時 1月28日(土)午前9時～

◆ 場所 佐賀町民館

【午前の部】

- 和太鼓演奏
- 開会行事
- 記念講演

川口泰司さんによる講演「寝た子」はネットで起こされる！

～部落差別は、今～

● 佐賀保育所園児発表

【午後の部】

- 佐賀中学校吹奏楽部演奏
- 佐賀中学校2年生の発表
- 人権作文発表
- 解放子ども会発表

(小学校低学年・高学年部会、中学校部会)

● 交流事業発表

(コーラス)

● 閉会行事

● もち・お菓子なげ

作品展示

◆ 場所 旧横浜保育所ホール

佐賀地域小中学生の人権に関する絵や習字、標語など

出店(正午～)

◆ 場所 老人憩いの家前広場

- うどん、
- 焼き鳥、
- から揚げ、
- カレー、
- じゃこ飯
- など

○お問い合わせ

横浜解放まつり実行委員会事務局 佐賀町民館

☎ 55-2108



去年の出店の様子

**平成28年度臨時福祉給付金の
受付期間を2月28日(火)まで
延長します**

消費税率の引上げに伴い、所得

の低い方々への負担の影響を考え、
簡素な給付措置として、「臨時福

祉給付金」を支給します。

◆支給対象者

平成28年1月1日時点で黒潮町
に住民登録があり、平成28年度分
の住民税(均等割)が課税されない
方が対象です。

ただし、次の方は対象外です。

- 平成28年度の住民税(均等割)が
課税されている方の税法上の扶
養親族など

- 生活保護制度の被保護者

- 支給決定までに亡くなられた方
など

◆支給額

給付対象者1人につき3千円

◆申請手続き

支給対象と思われる方に9月中
旬に案内書と申請書を送付してい
ます。申請書に必要書類を添えて、
申請期間内に役場担当窓口へ提出
してください。(郵送可)

◆申請期限 ※当日消印有効

2月28日(火)

◆給付方法

申請書受付後、審査のうえ、支
給対象者の指定口座へ随時、振り
込みます。

**障害・遺族基礎年金受給者向
けの年金生活者等支援臨時福
祉給付金の受付期間を2月28
日(火)まで延長します**

「一億総活躍社会」の実現に向け、

賃金引上げの恩恵が及ぶにくい低
所得の障害・遺族基礎年金受給者
の方に対して、「年金生活者等支
援臨時福祉給付金」を支給します。

◆支給対象者

平成28年度臨時福祉給付金の支
給対象者のうち、次のいずれかの
年金について、平成28年5月分の
受給がある方が対象です。

ただし、次の方は対象外です。

- 高齢者向け給付金(年金生活者
等支援臨時福祉給付金)を受給
された方

- 支給決定までに亡くなられた方
など

【対象となる年金】

- ①国民年金法に基づく障害基礎年
金または遺族基礎年金

- ②昭和61年3月以前に受給権の発

生した国民年金、厚生年金保険
または船員保険の障害年金のう
ち障害等級が1級または2級(船
員保険の職務上の場合1～5
級)の年金

③共済組合などが支給する障害年

金または船員障害年金のうち障
害等級が1級または2級の年金

◆支給額

支給対象者1人につき3万円

◆申請手続き

支給対象と思われる方に9月中
旬に案内書と申請書を送付してい
ます。申請書に必要書類を添えて、
申請期間内に役場担当窓口へ提出
してください。(郵送可)

◆申請期限 ※当日消印有効

2月28日(火)

◆給付方法

申請書受付後、審査のうえ、支
給対象者の指定口座へ随時、振り
込みます。

○お問い合わせ

佐賀支所 地域住民課
総合窓口第2係

☎55-3112(直通)

乗り方教室のご案内

土佐くろしお鉄道・高知西南交
通バスサポーターズクラブでは、
小学生のお子さんとその保護者を
対象とした乗り方教室を開催して
います。

第1回目は「列車」、第2回目
は「バス」の乗り方教室でしたので、
第3回目は「列車とバス」の乗り
方教室を開催します。

応募方法など詳しくは各小学校
からチラシが配布されますので、
ご確認ください。

なお、応募者多数の場合は抽選
とさせていただきます。

◆日時 2月4日(土)

◆場所 土佐くろしお鉄道(株)
中村駅・宿毛駅

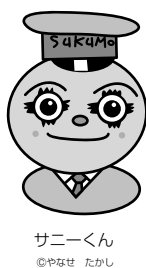
◆申込期間

1月10日(火)～1月20日(金)

○お問い合わせ

土佐くろしお鉄道・高知西南交
通バスサポーターズクラブ事務局
(土佐くろしお鉄道(株)総務課内)

☎35-5240



サニーくん
©やなせ たかし

平成29年度黒潮町宮川奨学資金貸与奨学生を募集します

黒潮町では、教育の機会均等を図り、社会の健全な発展に寄与するとともに、有為の人材を育成することを目的に、学資の貸与を受ける黒潮町宮川奨学資金貸与奨学生を募集します。

◆申込受付期間

2月1日(水)～24日(金)

◆奨学生の資格

①申請者および保護者が本町に引き続き3年以上居住している方(住民基本台帳に記載されていること)

②優秀な生徒で高等学校以上の学校に入学ならびに在学し、修学の志を有するにもかかわらず、経済的理由により修学または入学困難と認められる方

③品行方正、向学心旺盛、志操堅実で在学学校長の推薦がある方
※奨学生は「黒潮町宮川奨学資金資格選考委員会」の意見をもとに教育長が決定します。

◆奨学金の額

①高校またはこれと同程度の学校の奨学生 月額2万円以内
②大学またはこれと同程度の学校

の奨学生 月額3万円以内
※奨学金は無利息です。

◆奨学金の貸与

4月および10月の、年2回に分けて貸与します。

◆貸付の期間

その学校における正規の修学期間を限度とします。

◆奨学金の返還

卒業の月の1年後から、奨学資金貸付年数の2倍以内の期間内に、全額を半年賦で返還してください。

【納付期日】

●前期分 6月25日まで
●後期分 12月25日まで

◆申請の手続き

奨学金を希望する方は、出身学校または在学学校長の推薦を受けて、申込受付期間内に、次の書類を提出してください(すべての書類は1部で結構です)。

- ①奨学生願書(様式第1号)
 - ②奨学生推薦調書(様式第2号)
 - ③添付書類
 - 住民票(申請者・保護者)
 - 平成27年度分の所得証明書(申請者の世帯全員)
 - 平成28年度分の納税証明書(申請者の世帯全員)
- 申込・お問い合わせ

教育委員会 学校教育係(第2係)
〒789-1795
(黒潮町佐賀1092-1)

☎55-3190(直通)

恋結び列車「四万十川の橋梁Ver.2」募集中

土佐くろしお鉄道では、列車からしか見えない景色や地域の魅力を体験し、その中で出合いを提供するイベント企画「恋結び列車」を開催します。

このイベントに参加していただける方のご応募をお待ちしています。

◆日時

2月11日(土・祝)
午前10時

◆集合場所

土佐くろしお鉄道
中村駅

◆行程

中村駅～四万十川橋梁～宿毛市内～中村駅

◆参加資格

男性25～39歳で幡多地域および四万十町にお住まいの方。女性25～39歳、住所不問

◆参加費

男性 5000円
女性 3000円

◆申込期限

1月23日(月)

※申込方法など、詳しくはチラシまたは土佐くろしお鉄道のホームページをご覧ください。

ムページをご覧ください。
<http://www.tosakuro.com/>

○お問い合わせ(平日のみ)

土佐くろしお鉄道(株)営業課

☎35-4962

土佐入野駅にクリスマスツリー

12月8日、土佐入野駅で大方中央保育所の園児によるクリスマスツリーの飾り付けが行われました。園児たちはツリーに飾り付けを行った後、駆けつけてくれたサンタクロースからプレゼントをもらい、お礼の歌を歌うなど、クリスマスの雰囲気を楽しみました。

また、土佐くろしお鉄道のキャラクターのサンコちゃんも来てくれて、みんなで記念撮影をしました。



あなたの地区の民生委員・児童委員さんです！ お気軽に声をかけてください

3年に1度の全国一斉改選に伴い、黒潮町でも12月1日付で52人の民生委員・児童委員が、厚生労働大臣、県知事から委嘱されました。地域における生活上の相談に応じ、自立援助に努め、地域福祉の向上を目指すことが役割です。

■黒潮町民生児童・主任児童委員名簿（任期：平成28年12月1日～平成31年11月30日）

受持区域	氏 名	性別	電 話	受持区域	氏 名	性別	電 話
鈴	青山 近恵	女	55-7432	米原	都築加代美	女	44-1043
市野瀬・佐賀橋川	矢野みの江	女	55-7255	浮津	松下 由子	女	43-1489
拳ノ川	星野 寿美	女	55-7047	鞭	小橋たか子	女	43-1335
荷稻・川奥	川村 稔	男	55-7352		岩田 直子	女	43-1896
小黒ノ川・中ノ川	大塚 文子	女	55-2564	口湊川・奥湊川	秋森理津子	女	43-3102
市野々川・市野々川 住宅・不破原	大塚 一福	男	55-2529	小川	植田なち子	女	31-3581
伊与喜・熊井・藤縄	山下伊都子	女	55-3733	加持	塩田 正一	男	43-1803
熊野浦・大和田	土居 由美	女	55-2324	北郷	寺岡 理恵	女	43-3400
上分	橋田 敏明	男	55-2403	早咲	堀野 浩	男	43-3707
坂折	谷口 孔子	女	55-2909		山沖 祥	男	43-3651
馬地・下分	松岡 桂子	女	55-2735	浜の宮	宮地 龍生	男	43-3045
町分	矢野三恵子	女	55-2297	町	少林 雅雄	男	43-3361
浜町	濱口 由美	女	55-2119	万行	澳本 造	男	43-2059
明神	境 好美	女	55-2153	入野本村	吉本 佳代	女	43-1932
会所	辻 由美子	女	55-2082	錦野	森下 康夫	男	43-3746
横浜	浜岡 須美	女	55-3002	芝	山本春比古	男	43-3548
白浜	武政 富男	男	55-3710	馬荷・大方橋川	川村 渡	男	43-2622
灘	入野 隆	男	44-1831	御坊畑	松本 延三	男	43-3518
伊田浦	松下 千秋	男	44-1288	上田の口	神野 久枝	女	43-4069
伊田郷	武政 卓造	男	44-1240	緑野	矢野 了	男	43-4760
有井川	宮地 繁信	男	44-1137	下田の口	徳廣 春義	男	43-3761
上川口浦	金子 照代	女	44-2860	田野浦	浜口 修行	男	43-2296
上川口郷	吉香 直意	女	44-1409	出口	福井 正一	男	43-3796
王無・王迎	森近 秀年	男	090-7149-7557	主任児童委員			
蜷川	橋田 秀代	女	44-1197	佐賀地域	吉井 幸子	女	55-2797
仲分川・伴太郎	小笠原睦長	男	44-1086		吉門くるみ	女	55-2521
				大方地域	浦田 信	男	43-3699

【お問い合わせ】 本庁 健康福祉課 福祉係

☎43-2116(直通)

佐賀支所 地域住民課 総合窓口第2係

☎55-3112(直通)

学校支援活動ボランティアの募集

黒潮町教育委員会では、今年度より県の学校支援地域本部事業を受け、『黒潮町学校支援地域本部』を設置しました。

この事業は、黒潮町の未来を担う子どもたちを健やかに育むために、学校、家庭および地域が連携協力し、地域住民などの参画による下記の例のようなさまざまな学校支援活動を行うことを目的としています。

黒潮町学校支援地域本部では、この事業を推進するため、地域の皆さんから学校支援活動ボランティアを募集します。ご協力をよろしくお願いします。

学校支援活動の例

- **学習活動支援**
(放課後学習の補助、調理実習の補助、本の読み聞かせ、ゲストティチャーなど)
- **クラブ・部活動支援**
(野球、サッカー、吹奏楽、書道、茶道、手芸などのクラブ活動や部活動の指導など)
- **環境整備支援**
(草刈りや植木の剪定、花壇の整備、池の掃除、子どもたちと一緒にプール掃除など)
- **登下校安全支援**
(登下校時に通学路に立ち、子どもたちへの声かけや安全を図るための見守りなど)
- **学校行事支援**
(運動会の準備や後片付け、マラソン大会や遠足時のコースでの安全指導など)

学校支援活動ボランティアへの加入を

今、学校では、子どもたちの学習活動をより充実させるため、学校を支援していただくボランティアを募集しています。

学校支援地域本部では、これまで各学校で地域の方がボランティア活動を行ってきた取組をさらに発展させて組織的なものとし、地区内の学校だけでなく地区外の学校へもボランティア活動を広げ、学校と地域の力をマッチングして、より効果的な学校支援を行おうとしています。

地域の方が、ボランティアをしていただくことによって、

- ★子どもにとっては、豊かな学びと心を育むことにつながる。
- ★学校の先生にとっては、力強いサポーターになる。
- ★地域住民にとっては、生きがいや自己実現につながる。

など、「三方よし」の効果が期待できます。

子どもたちのために、あなたの力を貸してください。

植木の剪定技術を
生かせるかな。

野菜の作り方は
教えられるかも。

登下校の見守り
ならできそうだ。



本の読み聞かせは
大切ですね。

地域の歴史を
子どもに教えたい。

- ◆できる人が、できるときに、できることを支援していきます。
- ◆人から強制されるのではなく、自発的意志に基づいて行われます。
- ◆先生や子どもと一緒に活動し、学校をよりよくしていく活動です。
- ◆ボランティア自身の経験や専門性を活かす活動です。
- ◆地域コミュニティを活性化する方法です。

読書ボラン
ティアさん
による読
み聞かせ



地域ボラン
ティアさん
と一緒に
大根料理づくり

○加入のお申し込み・お問い合わせ
【佐賀支所】 教育委員会 ☎55-3190(直通)
担当者/国友、文野

くろしおっ子の学校給食

乾物の和え物



●材料(4人分)●

ひじき	4g
切干大根	16g
カットわかめ	1.2g
ツナフレーク	16g
ホールコーン	12g
ごま	2.0g
三温糖	8g
酢	8g
うすくち醤油	12g

防災をテーマにして新しい給食メニューを考案し、高校生サミットが開催された11月25日に、給食で初登場しました。また、「災害時にはストレスが増し、通常時以上にビタミンやミネラルといった栄養素の必要量が増します。」を「災害時にはストレスが増します。通常時以上にビタミンやミネラルといった栄養素を積極的摂取したいですね。」

【作り方】

- ①ひじき、切干大根、カットわかめは水でもどし、水分をきっておく。
- ②三温糖、酢、うすくち醤油は合わせておく。
- ③ツナフレーク、ホールコーンは缶から出しておく。
- ④①②③をすべて和えて、できあがり。

○お問い合わせ

大方学校給食センター ☎31-3201(直通)
佐賀学校給食センター ☎55-2166(直通)

土佐西南パークゴルフ協会 12月月例杯

日時:11月20日 場所:土佐西南黒潮パークゴルフ場
集合:午前9時 開始:午前9時半

成績	氏名	A-1	B-1	小計	A-2	B-2	HC	総計
優勝	尾崎良二	24	24	48	24	28		100
準優勝	小野みね	27	28	55	26	26	-4	103
3位	横田和江	24	29	53	26	30	-4	105
4位	橋田香奈	28	25	53	27	26		107
5位	茶畑すみ子	30	29	59	29	26	-4	107
6位	峰岸広美	28	28	56	27	27		108
7位	小野真人	26	27	53	26	29		109
8位	澳本 修	26	25	51	29	29		110
9位	川瀬和子	31	27	58	31	31	-4	110
10位	田中誠二	28	30	58	26	26		111

ベストスコア: Aコース 23点 — 峰岸広美
Bコース 24点 — 尾崎良二

※総合計同点、カウントバック方式とする。

※カウントバックの優先順位は、合計・計・2小計・B2・A2・1小計・B1・A1とする。



黒潮町ケーブルテレビ 1月番組予定表

2017年もIWKTVをよろしくお願いします

番組	放送時間
番組案内	6:00 10:30 15:00 19:30
IWKNEWS	6:05 10:35 15:05 19:35
おしえて食改さん	6:20 10:50 15:20 19:50
黒潮町版健康体操～ロコロ体操～	6:30 11:00 15:30 20:00
行政チャンネル	6:45 11:15 15:45 20:15
防災チャンネル	6:55 11:25 15:55 20:25
えいちゃ! 知っ得! くろしお町	7:05 11:35 16:05 20:35
耳をすまして	7:15 11:45 16:15 20:45
図書館どうでしょう	7:30 12:00 16:30 21:00
ザ☆黒潮人	7:35 12:05 16:35 21:05
お話玉手箱	7:50 12:20 16:50 21:20
くろしお☆チルドレン	8:05 12:35 17:05 21:35
JCC三人娘が行く	8:15 12:45 17:15 21:45
サイエンスチャンネル	8:25 12:55 17:25 21:55
Kochi on TV!	8:40 13:10 17:40 22:10
片さんのFish!おふ	9:40 14:10 18:40 23:10
ショップチャンネル	24:00～6:00

IWKTV加入についてのお問い合わせは
光ネットワークサービスセンター まで
営業時間 9:00～17:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

☎0800-200-1373

番組内容の更新は、毎週水曜日の15:00です。

お知らせ

◆IWKNEWS SPECIAL

2016年のIWKNEWSを一挙に放送します

放送日 1月4日(水)～11日(水)

◆みんなの情報や投稿映像募集中!!

おもしろい人や取り組み、珍しいものなど。

番組で取り上げてほしいみんなの情報をIWKTV制作室までご連絡ください。

また、ご自身で撮影した、写真や動画も募集しています。

テーマやジャンルは問いません。

どしどし応募ください。

※お寄せいただいた情報や映像などは都合により放送できない場合もあります。

注) 放送内容などは予告なく変更する場合があります。「電子番組表」で正確な内容が確認できます。

IWKTVの放送時間・番組などに関するお問い合わせは 黒潮町役場 本庁 情報防災課 情報推進係 または IWKTV制作室まで

【情報推進係】 ☎43-2188 | 【IWKTV制作室】 ☎43-0500
(課直通)

第20回 元気いきいき町民の集い

日時：2月4日(土) 10:00～12:20

場所：保健福祉支援センターこぶし(黒潮町拳ノ川17番地3)

講演：「知ってほしい 認知症のはなし」(講師：小松加代子さん)

○お問い合わせ先 佐賀支所 地域住民課 保健センター
☎55-7373(直通)

■拳ノ川診療所 1月の診療予定

【診療時間】午前9時～正午、午後2時～5時(記載がある場合はその時間まで)

	日	月	火	水	木	金	土
午前	1	2	3	4	5 外来診療	6	7
午後					外来診療		
午前	8	9	10 外来診療	11	12 外来診療	13	14
午後			外来診療 (伊与喜地区)		外来診療		
午前	15	16	17	18	19 外来診療	20	21
午後		外来診療 12:30～14:00(受付13:50まで)			外来診療		
午前	22	23	24 外来診療	25	26 外来診療	27	28
午後		外来診療 12:30～14:00(受付13:50まで)					
午前	29	30	31 外来診療				
午後		外来診療 12:30～14:00(受付13:50まで)	外来診療(鈴地区)				

医師の都合により変更となる場合がありますので、予約外の方は事前にお電話でご確認ください。

【お問い合わせ】拳ノ川診療所 ☎55-7111(直通)

■当直医療機関

月日(曜)	四万十市	宿毛市 (0880)	四万十町 (0880)
1/22(日)	中村病院 ☎34-3177	聖ヶ丘病院 ☎63-2146	くぼかわ病院 ☎22-1111
29(日)	中村クリニック ☎34-5100	筒井病院 ☎66-0013	
2/5(日)	四万十市立市民病院 ☎34-2126	大井田病院 ☎63-2101	
11(土)	さくらクリニック ☎35-2555	いなげ胃腸科内科 ☎62-1113	
12(日)	正木整形外科 ☎34-5252	幡多けんみん病院 ☎66-2222	

※当直医は、変更になる場合がありますので、あらかじめ確認してから受診してください。

2017(平成29)年1月

変更となる場合がありますので、詳しくは担当係にお問い合わせください。 （青字＝町外で開催される行事）

月日(曜)	行 事 名	場 所	時 間	お問い合わせ
1/3(火)	黒潮町成人式	ふるさと総合センター	13:30	生涯学習係 ☎55-3190
7(土)	第11回黒潮町少年駅伝大会	佐賀中学校～明神水産	8:40	生涯学習係 ☎55-3190
8(日)	消防出初式	役場本庁、佐賀支所	8:30	消防防災係 ☎43-2188
	幡多・マーケット「海辺の日曜市」	土佐西南大規模公園(大方)	9:00	まちづくりマーケットプロジェクト ☎090-2786-3702
14(土)	わんぱくスキー教室	愛媛県久万スキーランド	6:30	生涯学習係 ☎55-3190
24(火)	2016年度黒潮町人権教育推進講座 第3講座	大方町民館	10:00～ 16:30	人権教育係 ☎55-3190
28(土)	第28回横浜解放まつり	佐賀町民館	9:00	佐賀町民館 ☎55-2108
2/4(土)	2017大方人権まつり	ふるさと総合センター	9:00	大方町民館 ☎43-1204
	元気いきいき町民の集い	保健福祉支援センターこぶし	10:20	保健センター ☎55-7373
5(日)	黒潮町マラソン大会	土佐西南大規模公園(大方)	9:00	生涯学習係 ☎55-3190
8(水)	黒潮町人権教育集約大会	大方中学校	13:20	人権教育係 ☎55-3190
10(金)	心配ごと・困りごと、人権・行政相談所	蜷川生活改善センター 伊田浦老人憩の家	10:00	人権啓発係 ☎43-2800

〈水道給水工事指定店 当番一覧表〉

月	日	水 道 給 水 工 事 指 定 店			
1	1	中 村 住 設	道 倉 水 道 工 務 店	拳 ノ 川 住 設	
	2	前 田 電 工	(株) 土 居 建 設	大方設備センター	大 西 設 備
	3	クロスライフラインサービス	山 本 建 設 (株)	平 野 住 設	村 越 設 備
	4~8	吉 本 水 道	(有) 弘 瀬 建 設	野 村 企 画 設 備	
	9~15	中 村 住 設	道 倉 水 道 工 務 店	拳 ノ 川 住 設	
	16~22	前 田 電 工	(株) 土 居 建 設	大方設備センター	大 西 設 備
	23~29	クロスライフラインサービス	山 本 建 設 (株)	平 野 住 設	村 越 設 備
	30~31	吉 本 水 道 工 務 店	(有) 弘 瀬 建 設	野 村 企 画 設 備	
2	1~5	吉 本 水 道	(有) 弘 瀬 建 設	野 村 企 画 設 備	
	6~12	中 村 住 設	道 倉 水 道 工 務 店	拳 ノ 川 住 設	
	13~19	前 田 電 工	(株) 土 居 建 設	大方設備センター	大 西 設 備

● 当番店の連絡先・所在地 ※当番日以外でも要請があった場合には対応します。

店 名	住 所	電話番号		店 名	住 所	電話番号	
		事務所	自 宅			事務所	自 宅
大方設備センター	入野769	43-1483		大 西 設 備	上川0750-3	44-1025	
クロスライフラインサービス	入野1769	43-3075		吉 本 水 道	下田0822-174	43-2024	
前 田 電 工	入野1574	43-1149	43-1546	拳ノ川住設	拳ノ川1781	55-7371	55-7114
村 越 設 備	入野292-19	43-3225		(株)土居建設	伊与喜43-5	55-2133	55-2363
中 村 住 設	出口372-2	34-3621	43-2061	(有)弘瀬建設	佐賀1990	55-2121	
野村企画設備	田野浦1593	43-4665		山 本 建 設 (株)	佐賀2988	55-3141	55-2076
平 野 住 設	伊田2100	44-1513	44-1117	道倉水道工務店	浮鞭3558-8	43-2096	

○お問い合わせ 本庁 まちづくり課 土木係(水道担当) ☎43-2114(直通) 佐賀支所 建設課 水道係 ☎55-3700(課直通)

図書館カレンダー

(●)の日が休館日です。

大方・佐賀図書館



1月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				
2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4

★1月23日(月)～29日(日)は、「蔵書点検期間」となります。

あたらしい本紹介

- サイレント・プレス 南 杏子／著
- 梅もどき 諸田 玲子／著
- 遺歌集「海の歲月」 植田 馨／著
- 発達障害の僕が輝ける場所をみつけれられた理由 栗原 類／著
- 着こなし広がる帯を楽しむ便利帖 吉田 アヤ／著
- 靴のお手入れ新常識 安富 好雄／著
- おいものお菓子 齋藤 真紀／著
- ハリー・ポッターと呪いの子 J.K.ローリング／著
- おとうさんは、いま 湯本 香樹実／ぶん
- ぐずりっこフンガくん 国松 エリカ／作



『ONLにつどう詩人たち』
詩誌創刊25周年の軌跡をたどる
期間 3月26日まで
会場 上林暁文学館(大方あかつき館2階)
※幡多で生まれた詩誌『ONL』の創刊25周年を記念し、その軌跡をたどる企画展を開催します。同人たちの自筆原稿、詩集、表紙原画、ONLバックナンバーなど、多数展示しています。

にがえ・イメージ・感想画コンクール作品募集

「えほん」や「ほん」を読んで心に残った場面を“え”にして、みませんか？

応募期間：1月20日(金)まで

※応募用紙は図書館受付にあります。

部門：小学生未満の部／小学生各学年の部／中学生以上の部

賞：クジラ大賞(各部門1点)/イルカ賞(各部門3点)/特別賞1点

※展示・表彰式も行います。

「世界津波の日」高校生サミットin黒潮・関連企画 “参加した高校生たちが描いた絵” & “サミットあれこれ写真”展

期間：1月22日(日)まで

会場：あかつき館 2階町民ギャラリー

開館時間

【月・火・水・金】

午前10時～午後6時

【土・日】

午前10時～午後5時

★佐賀図書館は午後1時～2時まで閉館。

★木曜日は休館日です。

貸出冊数・期間

【本】

1人5冊・2週間

【雑誌】

1人3冊・2週間

【ビデオ・CD・DVD】

1人2点・1週間

★本の更新は1週間です。

★返却期限をお守りください。

返却期限を過ぎると督促を行い、その後貸出停止の処理を行います。

★借りた本やビデオなどを紛失や破損した場合は、弁償していただく場合があります。

返却するとき

●佐賀・大方どちらの図書館でも返却ができます。

●休館日に返却する時は各図書館にあるブックポストに入れてください。

●ビデオ・CD・DVDは開館時の受付窓口へ返却してください。

○お問い合わせ

大方図書館

☎43-2110(直通)

佐賀図書館

☎55-3150(直通)

地域子育て支援センター通信

明けましておめでとうございませう。今年も気軽にセンターに遊びに来てください。よろしく願います。

1月の予定

★佐賀おでかけ広場

◎毎週火曜日

午前9時30分～11時30分

10日・17日・24日・31日

室内あそびを楽しみましょう。

場所 佐賀保育所一時保育室

★いっしょに遊ぼう

午前10時～11時30分

5日(木)お正月あそび

12日(木)誕生日会

26日(木)折り紙あそび

場所 地域子育て支援センター

★第10回『子育て講座』

19日(木)午前10時～11時30分

場所 地域子育て支援センター

内容 『父親と絵本』

講師 高知こどものとも社

山下陽佑さん

○お問い合わせ

地域子育て支援センター

(大方中央保育所内)

